

日本での交換留学

パリ・シテ大学

エンリック＝デ＝カルバロ・メリサ

私の交換留学の年が終わり、素晴らしい一年でした。たくさんの新しいことを発見する機会があって、最初は少し難しかったですが、すぐにその感情は消えて、交換留学を十分に楽しむことができました。

大学のキャンパスは快適で、緑がたくさんあり、季節によって自然が変わるのを見るのはとても興味深かったです。授業で知らなかった多くのことを発見して、日本語が上達したことにも気づきました。他の人と話すことで、物事をより簡単に理解できるようになって、以前よりも自分の意見をよりよく表現できるようになったことに気づきました。



この一年間、フランス語カフェにも参加しました。これは私にとって新しい経験で、とても楽しみました。興味を持っている日本人と自国の文化を共有して、新しい人々に出会うのは楽しかったです。そして、カフェは日本人がフランス語を学ぶためのものでしたが、私は日本語を練習して、日本文化の新しい側面を発見して、訪れるべき場所についてのアドバイスを受けることができました。

しかし、私は日本文化だけを発見したわけではありません。この交換留学中に、さまざまな国から来た人々と話す機会があって、異なる文化について多くのことを学びました。自分の文化にととても近いように見える国々が、実際には私が思っていたよりもずっと異なっていることを見るのはとても興味深かったです。



最後に、いくつかの感謝の気持ちを伝えたいと思います。まず最初に、チューターのカリンさんに感謝します。とても親切で、私が少しでも問題を抱えたときにはいつも助けてくれました。それから、宮内先生と学生センターで働いている人にも感謝したいです。チューターと同じように、いつもとても親切で、この一年の間に多くの助けをしてくれました。最後に、音羽館で働いている方々にも感謝します。新しい場所に引っ越すのは難しかったが、問題があった時に、いつも助けてくれ、私がよく理解できるように簡単な言葉を使ってくれました。